

佐波郡神社誌

復刊版



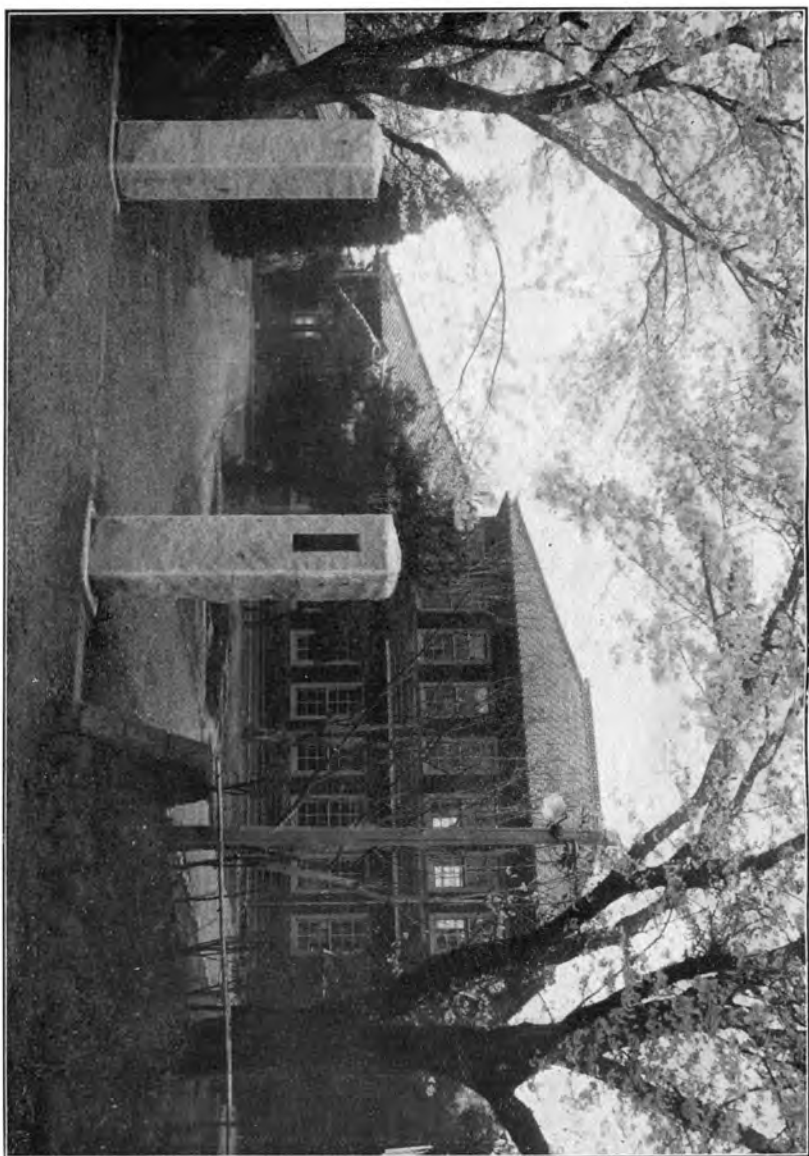
群馬地域文化振興会

國學院大學教授

河野省三先生校閲

佐波郡神社誌

神職會佐波郡支部編纂



(所 役 郡 波 佐 縣 馬 群)

所 務 事 部 支 郡 波 佐 會 職 神

群馬縣神職會佐波郡支部役員



長 部 支
郎 太 喜 間 安



長 副
郎 治 榮 橋 高



事 幹
郎 一 經 谷 賀 多

序

我が大日本帝國は遼古至聖至尊なる天祖の御神敕に因りて建設せられ無上尊嚴なる寶祚は萬世一系の皇統によりて千古に繼承せられ世界無比なる國體は忠實奉公の國民によりて無窮に奉戴せられつゝあるなり此の國家の葬倫禮典を闡明し我が國民道德の標準を確證するものは實に神社なり抑も皇國に奉祀せらるゝ神社は皇祖皇宗及び天神地祇を始めとして八百萬の神々に至るまで孰れも國家の宗祀にして祖先崇敬と離るゝことなし此の世界に類例なき神社に鎮祭し奉る神々は皇祖皇宗の神靈と帝國臣民の祖先にして之を崇敬するは即ち神孫神裔たる日本國民が報本反始の誠敬を致して洪大無邊なる皇恩神徳に感謝し奉る所以に外ならざるなりされば我が大日本帝國は古今を通じて神祇の奉祭を以て國家百政の第一義と爲し修身齋家治國平天下の要諦となせり之れ全く祭政一致忠孝一本の國體に起源し祖宗の靈地を神聖に愛護し給ふ聖旨に出づ是に於てか御歴代の天皇は常に皇祖天神に代はりて國民を愛撫し給ひ且臣子億兆を代表して天神地祇を敬祭せられ以て寶祚の無窮國家の安泰臣

民の幸福を祈らせ給へるなり殊に全國各地に奉齋せる産土神即ち所謂氏神は何れも其郷土を開拓し愛護せられたる祖先の神靈に坐しますが故に氏神と氏子とは恰も祖先と子孫と相離るべからざるが如き密接なる連鎖を有し正に親子的關係を保てるなり之れ我が國の郷土が互に隣保の團結を鞏固にし平和の象に裕なりし所以なりと謂ふべし然るに近來物質的文明の發達に伴ひて神祇崇敬の念著しく薄らぎ又忠君愛國の思想質朴醇厚の風漸く退歩の傾向あるは實に慨歎に堪へざる所なり茲に吾群馬縣神職會佐波郡支部は郡内神社誌を編纂して各その郷土に於ける氏神の由來現況を明にし以て國民思想善導の資に供せんことを期せり希くば敬神崇祖の觀念を養ひ葬倫禮典の根源を明かにすることを得べきか記して以て序となす